

広島で学んで良かったと思える、日本一の教育県の実現!

平川教育長の現場レポート

イエナプラン
教育などの研究

オランダで子供の“やる気”を引き出す
「イエナプラン教育」の
学校を視察しました!



3つの特徴

Point 1

先生が一方向的に教えるのではなく、子供たちが輪になって議論をし、共同で作業をすることで、自然とコミュニケーションや創意工夫が生まれる空間にすることを目指しています。

Point 2

同じ年齢によるクラスではなく、4~6歳、6~9歳、9~12歳の3つのステージでクラスを構成します。子供たちは各ステージで、年少→年中→年長と異なる立場を経験することで、お互いにフォローし合うようになります。



共生

Point 3

子供たちが自身が、対話・遊び・仕事(学習)・催しの4つの活動からなる時間割を進めます。子供たちは自分の能力や興味、学習進度に合わせて時間割を組むことで、自発的に考え、行動し、意見を述べるようになります。

自律

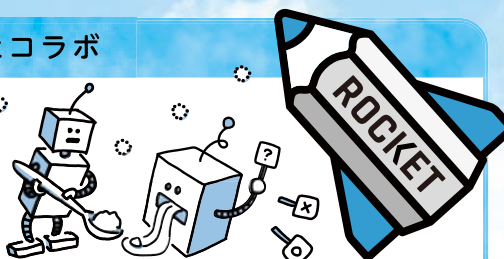
視察を終えて

子供たちが楽しそうに活動していることがとても印象的でした。子供主体の学習で「やる気」が高まっているからです。これも一つの学びのスタイルとして、今後、検討していきたいです。

東京大学先端科学技術研究センターとコラボ

東大ROCKET
IN 広島の実施

異才発掘プロジェクト ROCKET
「未来の科学者、集まれ!
~ロボットVS人間~」を試行!



昨年12月25日~27日、東広島市において本プロジェクトを試行的に実施しました。今回は、このテーマに興味を持って集まった18名の児童生徒が、蔵元での酒造りや最先端精密機械の見学などを体験し、「科学の発展は本当に人間の仕事を奪っていくのか。」というテーマで、ロボットと人間のそれぞれの良さや違いについて熱心に討論しました。



答えのない問いを、
みんなで考えるって
楽しいね!

“ROCKET”とは、“Room Of Children with Kokorozashi and Extra-ordinary Talents”の頭文字をとったもの。志と豊かな才能を持つ子供たちが集まる部屋(空間)という意味。個性豊かな子供たちに学校を越えた学びの場を提供することを目的とし、東京大学先端科学技術研究センターが中心となってプロジェクトを進めています。

広島県教育委員会では、今後も「異才発掘プロジェクトROCKET」を実施し、学びの多様性を切り開いていきます。

「知の拠点」の環境整備

学校図書館
リニューアル



県内の学校図書館を
順次リニューアル!



Love library

学校図書館は、児童生徒の想像力や豊かな心を育む「知の拠点」として大きな役割を担っています。しかし、多くの学校で十分に機能していないのが現状です。そこで、県教育委員会では、県内の公立小・中・高・特別支援学校などを対象に学校図書館のリニューアルを進めていきます。

県立三次中学校・高等学校の
学校図書館リニューアル完成!



蔵書の
整理・分類を工夫!

こだわりの
ディスプレイ!

学校図書館リニューアルへの
寄附をお待ちしております。
※ふるさと納税の対象となります。
詳しくはこちら▶



地域と共にある学校を目指して



コミュニティ・
スクールの導入



全ての県立学校に
コミュニティ・スクールを導入!

「コミュニティ・スクール」とは、学校運営協議会を設置している学校のことで、コミュニティ・スクールの仕組みを導入することにより、学校の目標やビジョンを保護者や地域の皆さんと共有し、連携・協働のもと、学校を運営します。

児童生徒への
メリット

学びや体験活動
の充実
地域の担い手
としての自覚が
高まるなど



保護者・地域への
メリット

地域の中で
子供たちが育てられ
ている安心感
新たな人間関係の
構築など

広島県教育委員会

県立学校

